



# 「虹の森」通信

9月号 第35号

発行日：2019年8月27日

発行：虹技株式会社

環境安全管理部 環境管理G

姫路市大津区勘兵衛町4丁目1

TEL 079-236-3224

## 毎年の

ことながら、暑さを嘆く季節  
なのですが、今年は7月中旬

までは曇天が多く、気温もさほど上がらなかった  
ので油断してました。梅雨明けと同時に、ドッカンと熱  
波にみまわれて、さながら熱湯風呂にでも放り込まれ  
たかのようです。その暑さに体が順応していないので  
しんどいですね。

タイトルバックは「コシボソヤンマ」。 体長は 5~  
6cm で夏の水場周辺で夕方あたりによく出没します。  
真昼の直射日光が苦手な私と同じで、昼間は隠れてる  
そうです。このヤンマの最大の特徴は、極端にくび  
れた腰です。この見事なくびれは、どんなナイスパデ



ィもかないませ  
せん。どうし  
てこんなにく  
びれる必要が  
あるの？ こ  
んなにくびれ  
て食べた物は  
ちゃんと通過  
するの？、と、  
頭がハテナで  
いっぱいにな

ってしまいます。

ところで、ヤンマとトンボの違いは分かりますか。  
学術的にはトンボ目の下にトンボ科とヤンマ科の区  
別があるようです。だから、ヤンマはトンボの一種  
といえます。で、どんな違いかという、ひとこと  
では言えないですが、だいたいヤンマはトンボより大  
きくて強く、両目がピタリくっついてるのが多いよ  
うです。トンボの語源は「飛ぶ穂」。稲穂が飛んで  
るみたいってことでしょうか。ヤンマの語源は諸説  
あるようですが簡単にいうと「山羽」が訛ったよう  
です。

次に、すんご  
いメタリックな  
コヤツは大き  
さが 2cm ほど  
の「オオセンチ  
コガネ」。動物  
のフンの中から  
生まれ、フンを  
食べて成長し、成



虫になってもフンを主食とする糞虫です。何しろそ  
の名前の由来がトイレの和語「雪隠(せっちん)」が  
訛ったというから筋金入りのフン好きです。その生  
態から嫌われることが多いですが、自然界の物質循環  
には大きく貢献しています。それに、このメタリッ  
クの艶やかさはサイコーで、個体によって青メタ、緑  
メタ、赤メタ、紫メタ、と色とりどり。これらを採  
集して並べると、カラフルで楽しくなっちはまっちょ  
う人も結構いるようです。



最後は、今年もやって来た「ルリモンハナバチ」ま  
たの名を「幸せを呼ぶブルービー」です。大きさは  
ミツバチくらいで、一見すると黒いので、よ〜く観察  
しないと美しい瑠璃色のシマシマに気づきません。  
黒っぽい飛ぶ虫を見つけたら要チェックです。でも、  
ハチですから刺されないよう気を付けてくださいね。

# 環擁爺(びびい)のつぶやきコラム



ぶつぶつ

NHKの「チコちゃんに叱られる」が相変わらず人気じゃの。ありふれた日常の何気ない疑問を投げかけ解決してくれるというパターンじゃが、視聴者の知的好奇心をくすぐってくるのがたまらんのお。それにチコちゃんの顔がバーチャルリアリティで、表情がちゃんと動いているのも毎回感心する。なにより、「ぼーっと生きてんじゃねーよ！」と叱るフレーズにわしもはまってしもうとる。今回は、同NHKでじわじわと人気が出てきた「香川照之の昆虫すごいぜ！」



という番組を紹介しよう。3年前の秋から不定期に放送されとるんじゃが、カマキリの着ぐるみを着たカマキリ先生こと俳優・歌舞伎役者：香川照之の昆虫解説がとにかく熱く、昆虫愛にあふれとるんじゃ。例えば、バッタの跳躍力を人間の大きさで分かるように、レッカーで吊り下げられたり、モンシロチョウが人間の大きさならその羽はどのくらいになるのかと、強大な羽を付けて羽ばたいてみたり、まるでお笑い芸人の罰ゲームさながらの体当たりなんじゃ。最初は、人気俳優が何をふざけているのかと思うたが、昆虫の解説番組をするのが彼の夢だったそうで、その力の入れようは半端じゃない。

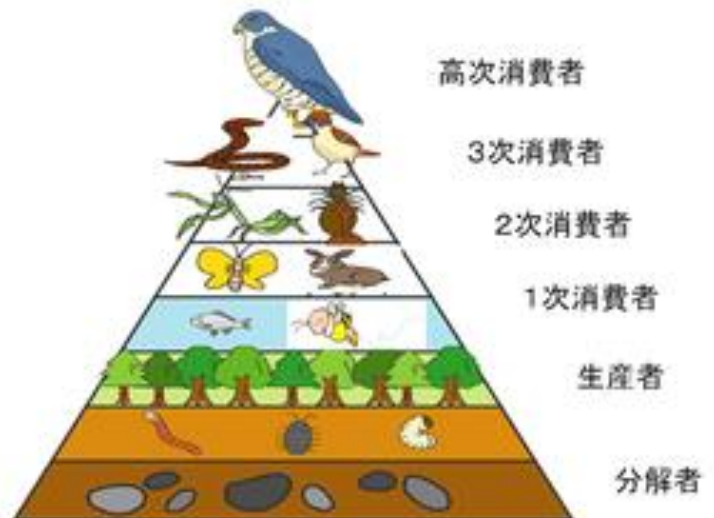
番組制作のきっかけは、民放のバラエティ番組にカマキリの着ぐるみで出演した際、「教育テレビでそういった番組に出たい」と言ったところをNHKのプロ

デューサーが見ていて直接会って昆虫への思いの熱さに即、制作が決まったそうじゃ。すごいのお。

一昨年は3回、去年は4回、今年はすでに4回放送しておる。毎回、テーマとなる昆虫について彼が子供らに説明したり、或いは捕獲に行ったり、実験もするんじゃ。「昆虫大好き！」というコーナーではホワイトボードの前で、延々と熱弁をふるう。映ったホワイトボードを見ると相当しゃべっとるはずが、大半が編集でカットされとるんじゃろうな。台本はないかもしれんな。

この番組、通常放送はEテレ(教育番組)の朝じゃが、8月1日には、NHKスペシャル「香川照之の昆虫“やばいぜ!”」と銘打ってなんとゴールデンタイムに放送された。見た者もおるじゃろ。その内容もインパクトが高かったぞ。カマキリ先生が昆虫王国コスタリカに行って様々な珍しい昆虫に出会うという展開を軸に、世界中で昆虫が減っているという環境問題を鋭く突く内容じゃった。Nスぺになったのは、おそらくこれが言いたかったんじゃな。日本では昆虫が激減しておる。それは日本だけでなく、世界中で進行中の異常事態なんじゃと。ドイツではなんと8割近い昆虫がいなくなり、昆虫王国コスタリカにおいてさえ、昆虫が減り続けているのだそうじゃ。こりゃ大変じゃ。

えらいことになっとるぞ。生態系の危機と言って

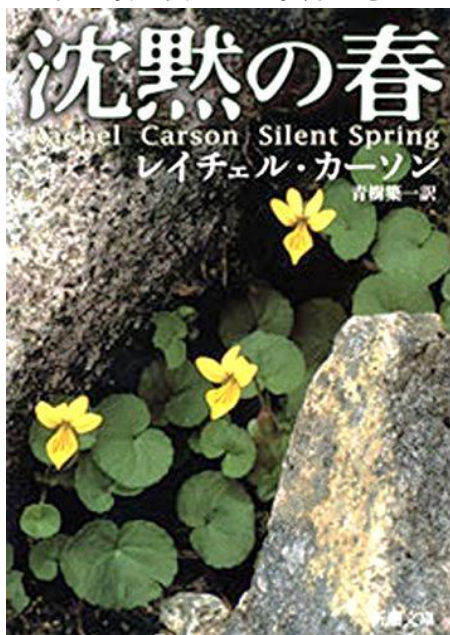


もい。生態系とは、生物と光や水・土などの無機物的なものが作り出す相互作用のことをいうんじゃ。

具体的には、太陽と空気、水と土壌によって、植物が育まれ、その植物を食べて成長する虫や草食動物がいて、又それらの動物を食べて成長する動物がいて、さらには、その動物を食べる動物もいる。どの段階の生物も、生命活動で出た排泄物や死がいは、土壌に戻って植物を育む肥料となるんじや。これがグルグル回ってこそ、生物多様性やら豊かな生態系が実現するんじや。前のページの絵は、生態系ピラミッドちゅうて、その関係を図にしたもんじや。

この、グルグル回っている輪が、どこか一つでも途切れてしまうと、生態系全てが衰退の一途をたどるんじや。昆虫がいなくなるということは生態系の輪が絶えるということじや。

環境について書かれた中で最も有名なレイチェル・カーソンの「沈黙の春」にも、生態系の輪が途切れることですべての生物が死に絶えると警告している。そして、殺虫剤・農薬の過度な使用が生態系に回復不能なダメージを与えるとも。いわく、殺虫剤・農薬により虫が死滅すると、虫をエサとしていた小動物や鳥たちが死滅し、その小動物をエサとしていた動物も死滅し、結果として環境ピラミッドの動物全てが絶滅することとなる。そうすると、受粉を虫に頼っていた植物も絶え、植物・動物の活動で豊かさを保っておった土壌も痩せていき、それが植物を弱らせるといふ負のスパイラルが止まらなくなるとカーソン女史は訴えておるんじや。これらの影響は水中生物たちにも及び、その果ては、春が訪れど、花は咲かず、鳥も鳴かず、ミツバチの羽音も聞こえない、動物たちの歩く音も、魚の跳ねる音もしない「沈黙の春」となるだろうと。



アメリカの生物学者・カーソン女史は、「沈黙の春」で主に殺虫剤（DDT や BHC）と農薬の大量使用について警鐘を鳴らした。この本の出版当時1962年は、DDT や BHC は、人や家畜には無害で虫だけを駆除できるという理想の殺虫剤として、人々の暮ら

しの衛生状態を飛躍的に向上させ、虫で感染する疫病が激減したんじや。それで、これらの殺虫剤を開発した科学者はノーベル賞を受賞しておる。

そうしてその薬剤が、今度は農業用の殺虫剤として使われることとなり、これまた、農業生産性をもグリーンとアップさせたんじや。気をよくした農業生産者たちは、飛行機を使って上空から農地や森林にぶちまけるといふいかにもアメリカ

的な豪快な使い方が流行。そのさなか出版されたのが「沈黙の春」なのじや。

当時、DDT は広く世間に認知されていたから、利権関係者や農業関係者からは相当なバッシングを受けたようじやが、本はバカ売れのベストセラーとなり、環境に対する世界初の市民ムーブメントを巻き起こし、徐々に DDT は使われなくなったんじや。現在、日本では製造・輸入が禁止され、生産している国は中

国とインドのみとなり、発展途上国のマラリア対策用に輸出されているだけじや。



カマキリ先生から話が脱線してしまつたが、ともあれ、昆虫もいなくては困るんじや。そこが今回のつぶやきのポイントじや

余談じやが、カマキリ先生こと香川照之はわしの遠い親戚でな、あちらは知らんと思うが、みんなには応援をお願いするぞ。



# 今年のアユはでかかったぜ！

今年で4回目となる、「アユのつかみ取り体験&クラフト教室」は、強烈な日差しの真夏日の中行われました。今年のアユはとびっきりデカく、まるで大きめのイワシかアジのようでした。なので、運動能力が高くて簡単に子供たちの追い込みに、はまってはくれませんが、それでも、真夏の川遊びほど楽しいものはありません。子供たちのアユ狩りへの熱量は半端なく、10時から開始後、2時間も追いかければなし。今年はサブメニューとして焼きマシュマロに、焼きトウモロコシを加えました。



アユも大きいし、トウモロコシも美味しいし、お腹いっぱいになるまで夏の味覚を楽しみました。



## 8月31日（土） ツリークライミングへの参加者大募集！！

まだ余裕あり。とても貴重な体験。ぜひとも子供さんに体験させてあげてください。詳しくはチラシを見てね。

### 第49回 森林整備の案内と参加者募集

8月はお休みしたので、2月ぶりの森林整備となります。まだまだ残暑の厳しさが予想されるので、ゆったりと作業をします。また、次の企画もそろそろ考えたいなと思っています。

日時： 9月14日（土） 10:00~15:00（9:30公園駐車場集合）

場所： 県立ゆめさきの森公園（虹の森）

申し込み： 参加希望者は、環境管理G 的場まで、またはお近くにいるメンバーまで連絡ください。

的場ケータイ：090-5979-8385

メンバーの方はショートメール等で参加の可否を連絡いただければありがたいです。

初めて参加される方は、保険に加入しますのでお名前、住所、ケータイ番号を連絡ください。

※小雨は決行。天候が荒れそうな場合は前日夕方に、中止のメールを携帯に送信いたします。